Jøtul F 500 ECO

Jøtul F 500 ECO

ヨツール機種別取扱説明書

JØTUL

目次

1. 正しく安全にお使いいただくために
2. 製品仕様
3. 薪について
4. 各部操作方法
   - フロントドア、サイドドアの開閉
   - アッシュドアの開閉
   - 燃焼調整レバー
   - 灰受け皿の取り出し
5. メンテナンスについて
   - 扉のガスケットの取替え
   - ガラスのお手入れ
   - バーンプレート・バッフルのお手入れ
6. 参考図
7. パーツリスト

1. 正しく安全にお使いいただくために

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管して下さい。

- コーションプレートと保証書は大切に保管して下さい。ヨツールクオリティーシステムのサービスやメンテナンスを受ける際にご提示いただく場合があります。
- 本体及び煙突は高温となります。直接手で触れないようにし、扱う際は必ず耐火製のグローブを着用して下さい。
- 正しく使用されない場合、火災事故や火傷、死亡事故につながることがあります。
- 使用時に薪がはぜる（火の粉が飛ぶ）ことがあります。必ず本体扉を閉めてお使い下さい。
- 安全にお使いいただくために、定期的なメンテナンスを行って下さい。
- ヨツールの製品は、賠償責任制度に加入しています。

2. 製品仕様

製品名	Jøtul F 500 ECO（SE）
本体寸法	幅 793×奥行 713×高さ 720mm
重量	200kg
最小出力	6.4kW（5,504kcal/h）
定格出力	10.5kW（9,030kcal/h）
最大出力	13.9kW（11,954kcal/h）
最大/推奨薪長	55cm／30-55cm
暖房面積	～200 ㎡（61 坪）
適切な薪量	2.4kg/h（定格出力より算定） **＜T4＞**
燃焼方式	クリーンバーン（2 次燃焼方式）
煙突径	150mm
煙突方向	上・後
本体カラー	BP（ブラックペイント）
試験データ EN13240	
燃焼効率	86% 8.8 kW
推奨ドラフト値	12-15 Pa
CO at 13%O2	0.08%／990mg/N ㎥
NOx at 13%O2	99 mg/N ㎥
OGC at 13%O2	67 mg/N ㎥
Dust at 13%O2	6 mg/N ㎥
空気消費量	22.3 ㎥/h

＜T4＞ヨツール・オーナーズ・トレーニングチェック項目です。薪を入れすぎた状態で使用すると過燃焼になり本体を破損する場合があります。機種により、適切な薪の量が示されています。

3. 薪について

・最適なサイズの薪を使用する事で、乾燥しやすく、燃料として理想的にご使用いただく事が出来ます。少なくとも 2 種類の薪を用意しましょう。

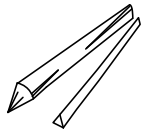
・ヨツールが推奨する薪

＜焚き付けの薪＞

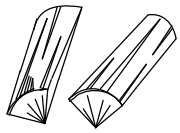
・長さ：30～55cm／太さ：5cm／投入量：5～8 本

＜通常使用時の薪＞

・長さ：35cm／太さ：8～13cm／投入量：3 本



炊き付け用の薪



通常使用の薪

4. 各部操作方法

・フロントドアの開閉（Fig. A参照）

・フロントドアハンドルを 90 度回転させ扉を開けます。閉めるときは扉を押しながらしっかりと閉めます。

・サイドドアの開閉（Fig. B参照）

・サイドドアハンドルを 90 度回転させ扉を開けます。閉めるときは扉を押しながらしっかりと閉めます。

＜注意＞

・サイドドアを、薪投入時以外は開けないでください。

・燃焼調整レバー（Fig. C参照）

・本体正面中央のレバーをスライドして空気の調節をします。右にレバーをスライドさせて開けると、空気が多く流入し高温に、逆に左に閉めると、空気の流入が少なくなり低温になります。

＜注意＞

・空気調整レバーを過度に閉めると不完全燃焼となり、煤やタールが多く発生する原因となります。

・アッシュグレートの開閉、灰の落とし方（Fig. D参照）

① アッシュグレートはA方向にスライドし、開きます。

② 開いたアッシュグレートに灰をかき出し、灰受け皿に落とします。

＜注意＞

・ドックハウスのパイロットエアー吹出口（炉床から約1.5cm)は灰で埋もれないようご注意ください。（Fig. E 参照）

・年 1 回 ドッグハウス内の灰を掃除してください。ドックハウス取り外しによるパイロットエアホールへの灰こぼれに注意し、外気導入口（Fig. B 参照）下は養生をするようにしてください。

・外気導入をしている場合は使用部材を取り外し、掃除を行ってください。方法については設置業者様へお問い合わせください。

・アッシュグレートは閉じて(B方向)ご使用ください。

・アッシュドアの開閉、灰受け皿の取り出し（Fig. F 参照）

① アッシュハンドル 90 度回転させ扉を開けます。閉める時は扉を押しながらしっかりと閉めます。

② 扉を手前に開きます。

③ 灰受け皿の取手を引き出します。

＜注意＞

・ストーブ使用中は必ずアッシュドアをしっかり閉めてご使用ください。

・本体が完全に冷めたことを確認し、グローブをご使用の上、灰受け皿を取り出して下さい。

・外気導入ダンパーボックス（※オプション品）

薪ストーブ燃焼前にダンパーが開いていることをご確認ください。閉じている状態で燃焼した場合、十分な空気が供給されず、逆流する場合があります。

5. メンテナンスについて

定期的なメンテナンスの際に、消耗品の交換をしましょう。

・ 扉のガスケットの取替え

扉の周囲につけて気密性を保つガスケットは、使用に伴って消耗してきます。扉のガタつきや空気漏れ、ガスケットそのものに「へたり」が見られたら交換時期です。（Fig. G）

① ガスケットをはがして、溝についている耐火セメントをドライバーやワイヤーブラシで取り除きます。

② ガスケット専用の接着剤を溝に薄く塗布します。

③ 新しいガスケットを、隙間なく押し込みます。常温で 3 時間以上乾燥させます。

・ ガラスのお手入れ

製品にはエアウォッシュシステムが装備されています。本体上部からガラスの内側に沿って空気が流れます。ある程度の煤は煙突のドラフトや燃焼レバーの調整具合によってガラスに付着しますが燃焼調整レバーが開いている時や炉内で炎が活発に燃えている時に消散します。

通常のクリーニングは、薪ストーブが冷めた状態を確認して、ぬれた布に灰を少しつけてガラスを磨きます。最後に乾燥した布で拭いてください。落ちにくい煤や汚れは、専用のガラスクリーナーを塗布し、乾いた布等できれいに取り除いて下さい。また、ガラスにヒビや割れ等が生じた場合は、直ちに使用を中止して、新しいものと交換して下さい。

・ バーンプレート、バッフルプレートのお手入れ

プレート全体にクレオソート等の汚れが付きますので、気になる場合はブラシ（バーミキュライト素材は傷が付きやすいので注意してください）をかけて汚れを取り除いて下さい。ヒビ割れ、変形が生じた場合は、直ちに使用を中止して新しいものと交換して下さい。そのまま使い続けると、暖炉本体の寿命を縮めます。

＜注意＞

・バッフルサポートを外し元に戻す際は、必ず 3 箇所のフックにしっかりかかるように取り付けてください。

7、参考図

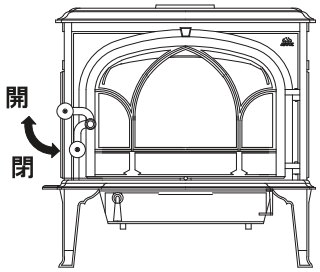


Fig.A

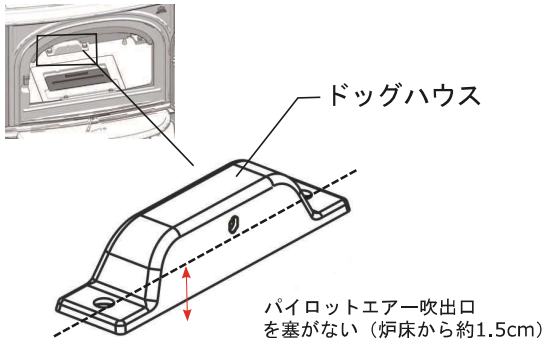


Fig.E

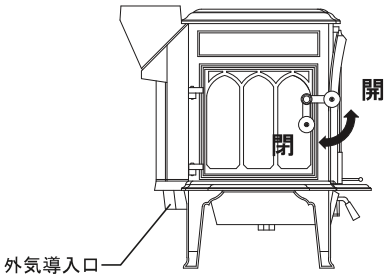


Fig.B

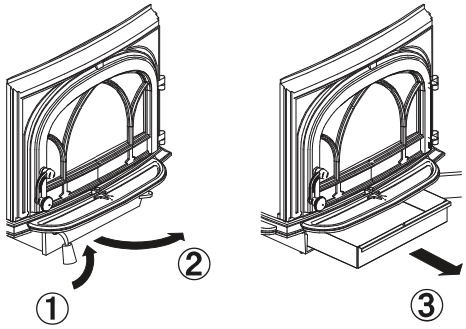


Fig.F

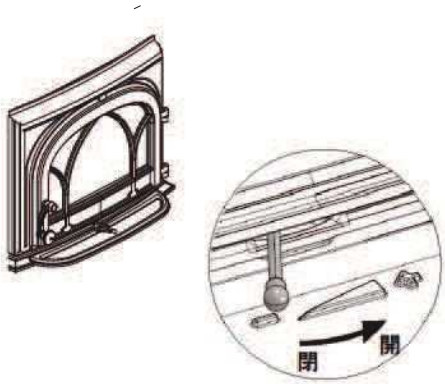


Fig.C

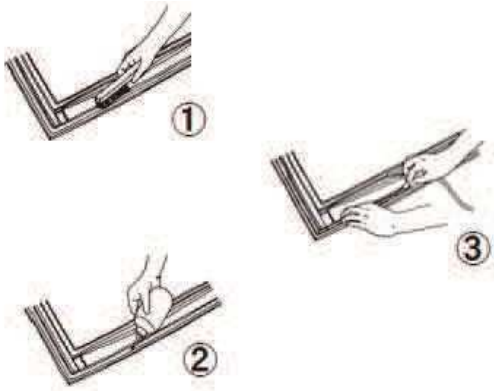


Fig. G

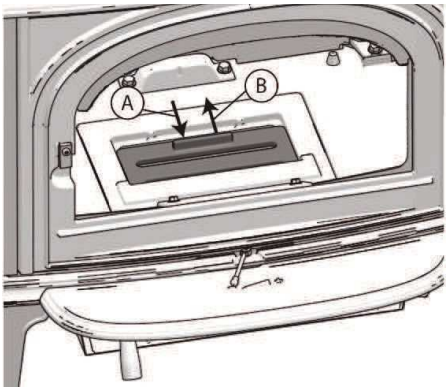


Fig.D

※必ずバッフルサポートは3箇所のフック（丸印）にしっかりかかるように取り付けてください。

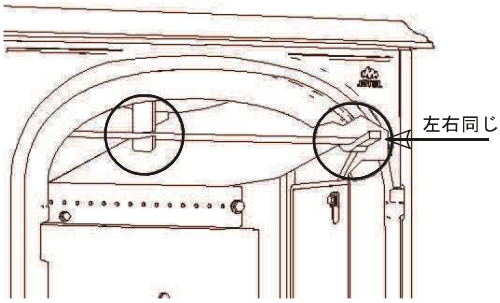
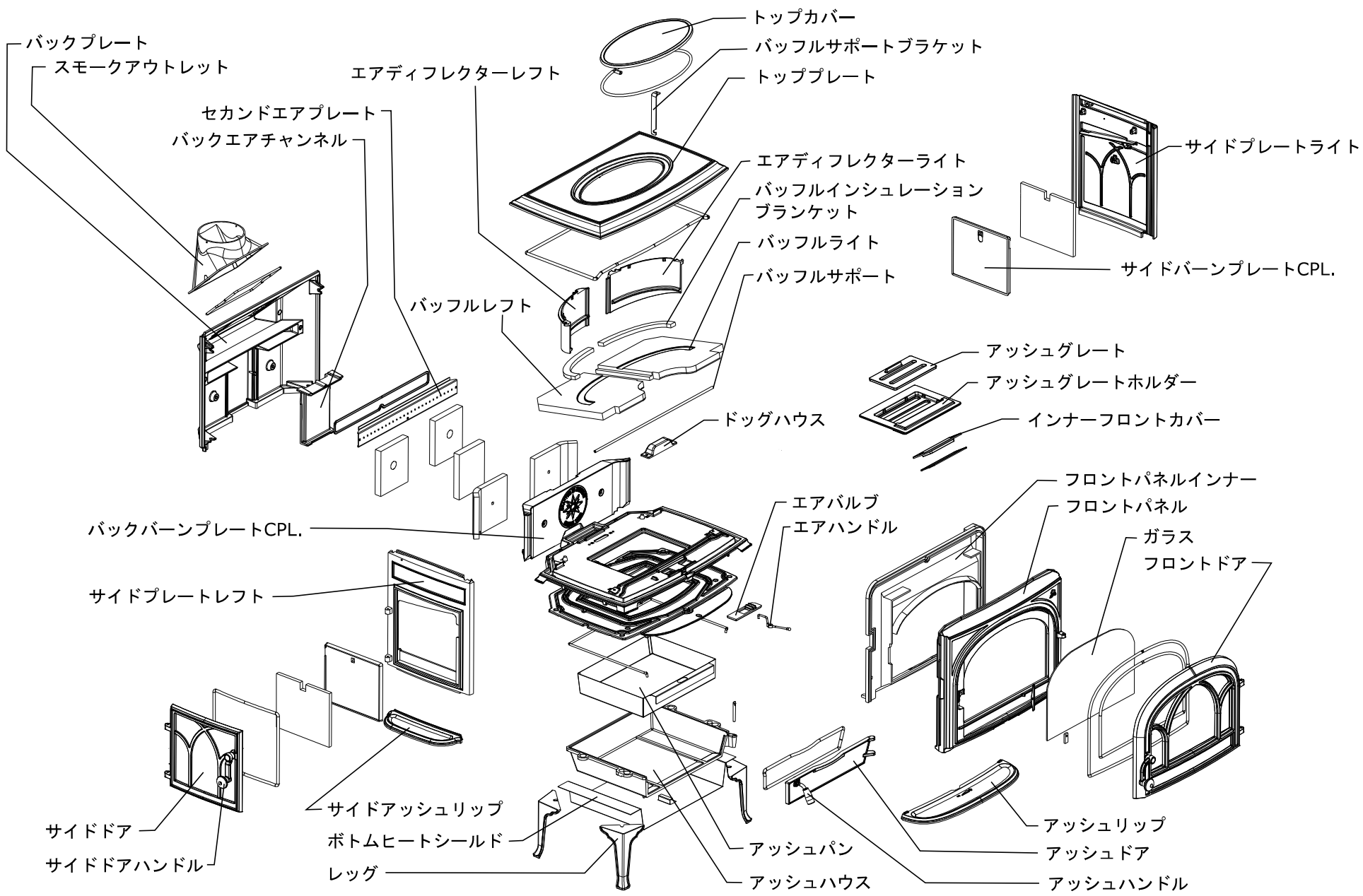


Fig. H

8.パーツリスト


トップカバー
バッフルサポートブラケット
トッププレート
バックプレート
スモークアウトレット
エアディフレクターレフト
セカンドエアプレート
バックエアチャンネル
エアディフレクターライト
バッフルインシュレーション
ブランケット
バッフルライト
バッフルサポート
サイドプレートライト
サイドバーンプレートCPL.
バッフルレフト
アッシュグレート
アッシュグレートホルダー
インナーフロントカバー
ドッグハウス
フロントパネルインナー
フロントパネル
ガラス
フロントドア
エアバルブ
エアハンドル
バックバーンプレートCPL.
サイドプレートレフト
サイドアッシュリップ
サイドドア
サイドドアハンドル
ボトムヒートシールド
レッグ
アッシュパン
アッシュハウス
アッシュリップ
アッシュドア
アッシュハンドル

「ヨツール・クオリティー・システム」は、正規のヨツール・ディーラーでご購入された製品だけがサービスの対象です。製品には、ご購入時に保証書と一緒にコーションラベルが貼付または同梱されていますので、必ずご確認下さい。※ヨツール本社の保証規定に従い、正規輸入品のみの保証とさせていただきます。

ヨツール日本総代理店

株式会社 メイク

東京ショールーム
〒101-0043　東京都千代田区神田富山町 5－1　神田ビジネスキューブ1F
TEL_03-6418-4822

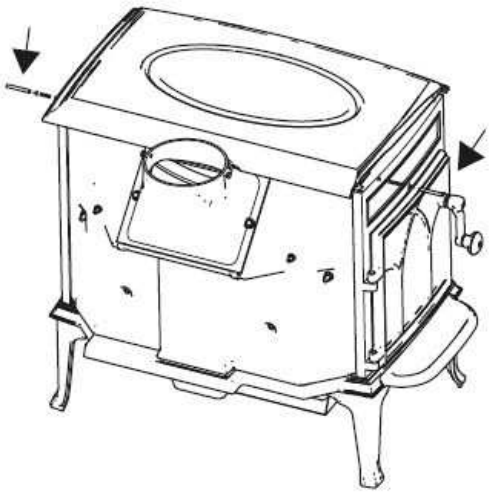
つくばショールーム
〒300-0847　茨城県土浦市卸町 2－5－25
TEL_029-841-5147 FAX_029-843-8421

Jøtul F 500 ECO

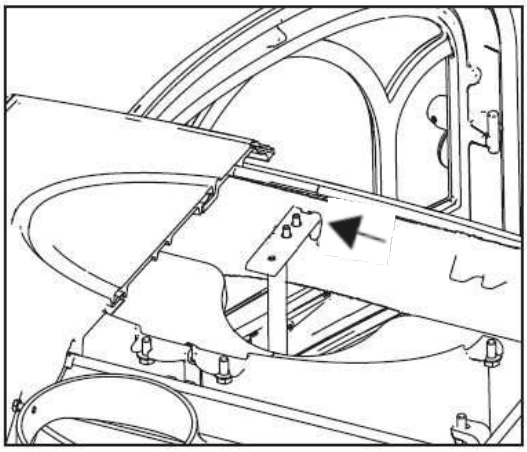
JØTUL F 500 ECOバッフル取外し方法

（ストーブ設置業者様）

1、ストーブ側面のボルト2箇所
を外します。

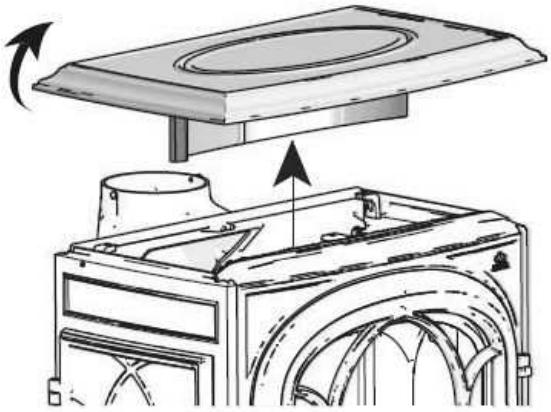


2、ストーブ炉内からボルト2箇所
を外します。



3、トッププレートを持上げて外し、
次にバッフルを外します。

逆の順番で戻します。



JØTUL